

**「一般車両のビッグデータから路面評価(IRI/わだち掘れ量)を行う技術」
が国内初のビッグデータ活用型技術として、
国土交通省の点検支援技術性能カタログに掲載**

株式会社オリエンタルコンサルタンツ（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：野崎秀則）、トヨタ自動車株式会社（本社：愛知県豊田市、代表取締役社長：佐藤恒治）、朝日航洋株式会社（本社：東京都江東区、代表取締役社長：加藤浩士）、株式会社エイテック（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：久川真史）が4社共同で開発した「一般車両のビッグデータから路面評価(IRI/わだち掘れ量)を行う技術（以下、本技術）」^{※1}が、このたび、国土交通省の点検支援技術性能カタログ（以下、性能カタログ）^{※2}に掲載されました（2025年4月）。

本技術は、4社で応募した舗装点検・道路巡視の支援技術に関する公募（2024年8月）の試験を踏まえ掲載されたものです。

性能カタログは、道路分野における新技術導入促進方針案（2019年12月）に基づき、国で技術公募し、国管理施設等の定期点検業務の標準項目に対する性能値を開発者に求め、仕様確認を行った技術を対象にカタログ形式でとりまとめたものです。

なお、本技術は、性能カタログに掲載された技術のうち、国内で初めて舗装点検のための現地走行が不要なビッグデータ活用型の技術として登録されました。

【本技術の概要について】

本技術は、一般車両の走行履歴から自動収集、蓄積、記録されるタイヤ回転速度などから舗装の維持管理指標であるIRI及びわだち掘れ量^{※3}を評価するもので、従来の点検手法と比較し、2割以上の工期短縮とコスト削減を実現可能です。

2025年3月現在、国や都道府県、市町村などの管理道路を中心とし20を超える団体において活用されています。

【今後の展開】

本技術を活用し、道路舗装の効果的、効率的な維持管理手法を提案してまいります。



図 ビッグデータ活用型の舗装点検技術

- ※1 「一般車両のビッグデータから路面評価(IRI/わだち掘れ量)を行う技術」(<https://www.mlit.go.jp/road/tech/pdf/catalog-hosou0043.pdf>)
- ※2 点検支援技術性能カタログ <https://www.mlit.go.jp/road/tech/hosou-list.html>
- ※3 舗装点検要領（平成 29 年 3 月 国土交通省道路局）における舗装管理指標のうちの 2 つ
https://www.mlit.go.jp/road/sisaku/yobohozen/tenken/yobo28_10.pdf

<本件に関するお問い合わせ先>

株式会社 オリエンタルコンサルタンツ

TEL: 03-6311-7551 FAX: 03-6311-8011

<https://www.oriconsul.com/>

統括本部 伊藤・日原・丸山・門司